

動労千葉結成10周年!

1989.8.14

No.3070

弾糾12年却棄上裁判別差山狭

8.6長野集会開かる

狭山差別裁判徹底糾弾!

無実の石川氏奪還!

八月六日、長野県須坂市において、「狭山差別裁判上告棄却十二ヶ年糾弾・狭山関東ブロック長野集会」が関東各都県連の部落の仲間を先頭に、労働者・市民・学生の二八〇名の参加をもって開催された。

天皇制攻撃と真正面から対決することとを宣言し

今日、ヒロヒトの死をもって天皇制攻撃が一挙に激化している。

たたかう部落解放同盟の拠点、長野県須高・北信・上小地区協議会青年部の事務所に対しても、新天皇が山遊び(アキヒトは山好きで時々おしおびで長野に来るそうである)に来る度に警察・機動隊が包囲し、弾圧の機をうかがっており、あまりに不当な弾圧に抗議した青年を逮捕するなどという攻撃が日常的に加えられているのである。

この日の集会は、そうした弾圧・逮捕攻撃をも

つてたたかいを圧殺しようとする日帝・天皇に対する怒りの発言が部落の仲間から相次いだ。

とりわけ、一部の反動派は、天皇恩赦にすぎり、「狭山闘争」を「仮出獄路線」(石川青年の無実であることを否定し、天皇の権力に頭を下げて『仮出獄』させて狭山闘争を終結させようとするもの)へと大きくカジをとっている。しかし、このことは狭山闘争の当該「犯人」にデッチ上げられて無実の石川さんの獄中における血のにじむようなたたかいを水の泡にしてしまうものだ。(石川さんは、ヒロヒトの死に伴う恩赦問題の時、それをキツパリ拒否し、無実をかちとるまでたたかうことを宣言している)。

そうしたことに對し、8・6集会では「長野県連A地区婦人部を先頭に逮捕された仲間を奪還するために数波にわたる警察への抗議行動をたたかい8月5日に仲間を奪還した」(長野県連A地区婦人部)「反動派から統

制処分攻撃に對し町ぐるみの反撃を開始する」(B県連の仲間)という意気軒昂としたたかいの報告や決意が部落の仲間から出され、会場はそうした仲間の決意を受けとめ割れんばかりの拍手が参加者からわいた。

また、この日の集会は長野の各地でたたかう多彩な人たちが部落の解放をめざし、共にたたかうことを決意した。

われわれは、たたかう部落解放同盟の決意を受けとめ、この間、統制処分攻撃と果敢にたたかい、村ぐるみの決起をかちとってきたたかいに学び、連帯をさらに強化しなければならぬ。

今日、「連合」によつてますます労働者間の差別・分断支配が強まっている(差別を煽る鉄道労働者マルの醜い姿を見よ!)。私は、たたかう部落の仲間のたたかいに学び、労働者に責任をもつ労組として一層の努力が必要であることを痛感した。

たたかう部落の仲間は、

十・二石川さん激励千葉刑務所闘争、三里塚現地闘争に総決起することを決意している。

当面するスケジュール

| | | | |
|------|----------------------|-----|----------------------------|
| 8・21 | 清算事業団闘争勝利動労千葉総決起集会 | 18時 | 千葉市霞川公園(バルコ横) |
| 8・23 | 木戸地労委 | 10時 | 千葉地労委 |
| 8・26 | 第4回労働者福祉センター | 13時 | 労働者福祉センター |
| 8・28 | 第2波公判 | 10時 | 千葉地労委 |
| 9・10 | 反一連合、全労組懇談会、労働者総決起集会 | 13時 | 東京・目黒区中小企業センター、全国労働者交流センター |

8・21闘争へ

首切り攻撃を許さず

清算事業団の仲間の

原職奪還を!